

インフラ整備70年 講演会（第55回）

～戦後の代表的な100プロジェクト～

都営地下鉄大江戸線の建設

～着手から14年間で40kmの地下鉄を完成～

<講演者>

平出 亨	元東京都地下鉄建設(株) 常務取締役
安部雅昭	元東京都交通局 建設工務部 計画課長
樫尾恒次	元東京都交通局 技術管理担当部長
梶山雅生	(株)熊谷組 専務執行役員
小野俊雄	(一財)安藤ハザマひとづくり財団 理事長
坂口淳一	東京都交通局 建設工務部長

<司会者>

増淵 豊 東京都交通局 建設工務部 計画改良課長

<講演プログラム>

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 環状地下鉄構想の背景 | 4. 輻輳した地下空間を克服した駅シールド技術 |
| 2. 大江戸線の誕生史 | 5. 大江戸線の整備効果と今後の展望 |
| 3. 大江戸線の建設 | |

2024年 11月26日 (火)

講演会:16:00～18:00 意見交換会:18:00～19:00

場所:政策大学院大学想海樓ホール (会場・WEBのハイブリット形式)

定員: 会場 200名 WEB 1000名

都営地下鉄大江戸線は都庁前駅から飯田橋、上野御徒町駅、門前仲町駅、汐留駅、六本木駅などを經由し、再び都庁前駅に戻る環状部と都庁前駅から東中野駅、練馬駅などを經由し光が丘駅に至る放射部からなる延長40.7kmの地下鉄路線である。

大江戸線の計画にあたっては、オイルショックなどの社会情勢の変化が立ちはだかり極めて困難を極めた。また、建設にあたっては都心部であるがゆえに複雑な地下埋設物を避け、軟弱地盤を克服する必要があるなど数々の困難を極めたが、着手からわずか14年という短期間で全線が開業できた。

本講演では、大江戸線の計画から建設まで数々の特色を当時の話題を交え解説するとともに今後の展望についても紹介する。

(本講演会は、建設コンサルタント協会CPDプログラムとして認定されております)

主催: (一社) 建設コンサルタント協会

後援: (公社) 土木学会



写真提供: 東京都交通局

インフラ整備70年講演会(第55回)

都営地下鉄大江戸線の建設 ～着手から14年間で40kmの地下鉄を完成～

<講演者>

平出 亨	元東京都地下鉄建設(株) 常務取締役	安部雅昭	元東京都交通局 建設工務部計画課長
榎尾恒次	元東京都交通局 技術管理担当部長	梶山雅生	(株)熊谷組 専務執行役員
小野俊雄	(一財)安藤ハザマひとづくり財団 理事長	坂口淳一	東京都交通局 建設工務部長

司会；増淵 豊（東京都交通局 建設工務部 計画改良課長）

講演会 申し込み方法（変更がありますのでご注意ください）

- 会場（講演会2000円・意見交換会2000円）、WEB（講演会無料）どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP（<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>）よりお願いします。

【注意事項】

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報インフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等のご遠慮頂きますようお願いいたします。

<会場参加について>

- 申込完了者は、**11/18(月)までに**下記口座へ会費振込をお願いします。なお、領収書は講演会当日にお渡しさせていただきます（振込が期日より遅れますと後日郵送となります）。

三井住友銀行 飯田橋支店(888) 普通口座 7379944

イッパ ソジャダ ソウジ ソンセツコンサルタンツキョウカイヨウチ カイヨウ ナムテツ

（複数名分の振込を行う場合、対象者名の一覧を下記の問い合わせ先メールにご連絡をお願いします）

<WEB配信について>

- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させていただきます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください（複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います）

問合せ先 E-mail: infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、（一社）建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、（一社）建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとししました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第56回講演会 2024年12月19日(木) 講演会 16:00～18:00 意見交換会 18:00～19:00

テーマ： 只見川水力開発と奥只見のダム群 ～佐久間ダムに続く奥只見・田子倉ダムの建設と再開発～

講演者： 嶋田 善多 / 電源開発(株) 代表取締役副社長執行役員

沼本 仁志 / 鹿島建設(株) 土木管理本部 土木工務部 ダム統括部長

東福 忠彦 / 前田建設工業(株) 専務執行役員 土木事業本部 本部長

上馬場 靖 / 前田建設工業(株) 土木事業本部営業第1部 上級技師長

* 会場参加とライブ配信のハイブリットにて行う予定です